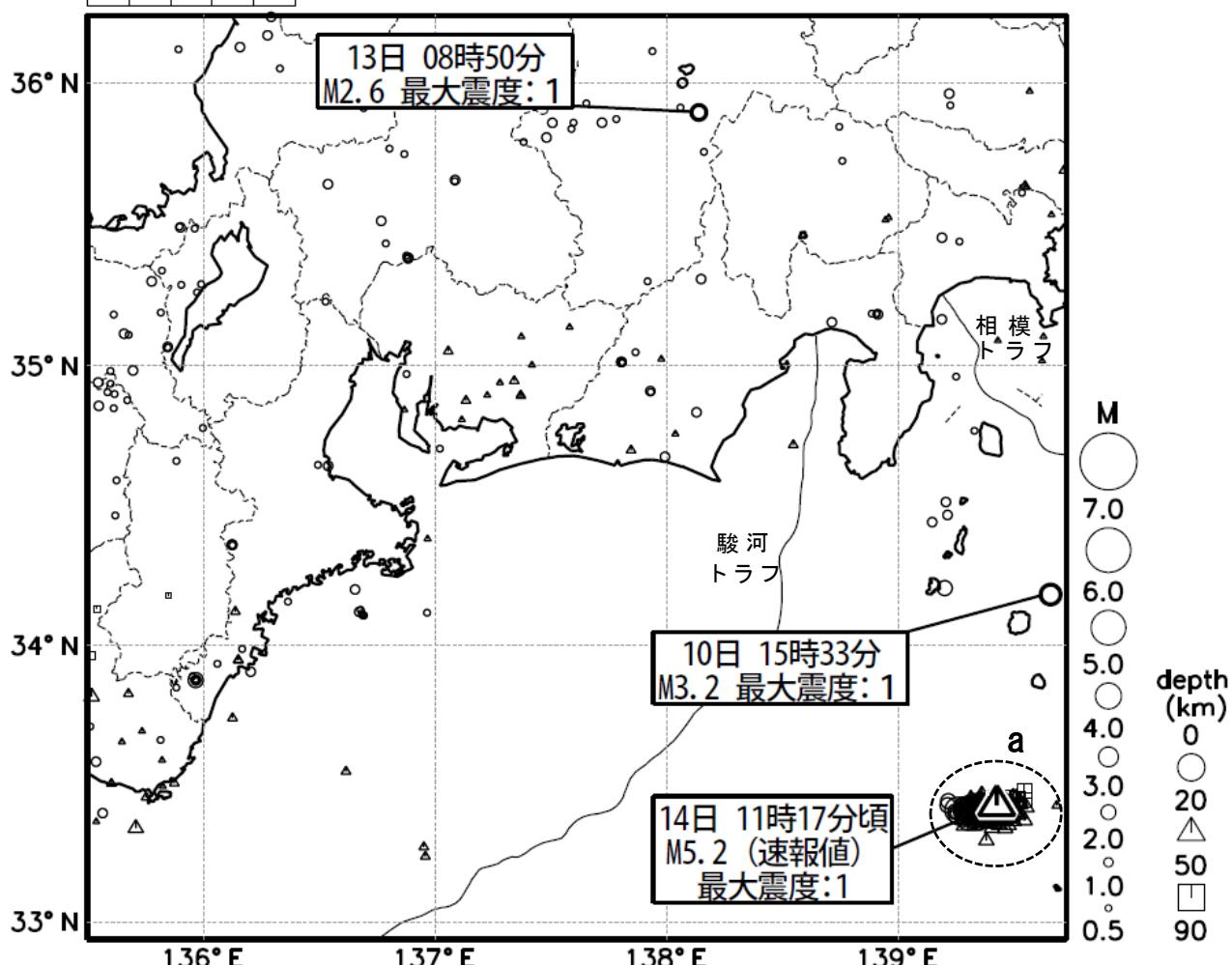


東海地域の週間地震活動概況 No. 29

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

100km 震央分布図（2016年7月8日～7月14日）



“震度1以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（震源の深さ0～90km）。ただし、八丈島近海の活動（領域a）は最大規模の地震のみ示している。

[概況]

特に目立った活動はなかった。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生している「長期的ゆっくりすべり」は継続している*。

【東海地域】

[地震活動]

- 特に目立った活動はなかった。

[深部低周波地震活動]

- 特に目立った活動はなかった。

【その他の地域】

- 11日以降、八丈島近海（領域a）でまとまった地震活動があり、14日までに最大震度1以上を観測する地震が6回発生している。これまでの最大規模の地震は、14日11時17分頃に発生したM5.2（速報値）の地震（最大震度1）である。

*上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震の震央は表示されない。